

教科名	理科	科目名	地球環境防災	年次	3年次	単位数	2
準教科書	地学基礎（東京書籍）		副教材				

1 担当者からのメッセージ

地球科学を学ぶ目的の1つは、現在の地球を観察することで過去を解き明かし、未来の地球を予測できることを目指すということです。地球を知り、日本を知り、地域を知り、人々の生命を守る「防災」に繋がっていきましょう。

防災という目的意識をもって、地学の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、地域、そして地球を取り巻く環境に対して科学的に探究する能力を身に付けていきます。

2 学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、災害について科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。（知識・技能）

・授業で学んだ知識を活かし、私たちの住む池田町、岐阜県、東海地区、そして日本の環境と災害について、科学的に探究する力を養う。（思考・判断・表現）

・観察、実験や調べ学習、ポスターセッションなどを通じ、地域や私たちを取り巻く環境に主体的に関わり、災害について科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。（主体的な学習する態度）

3 学習計画

		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	・宇宙の構造と進化 ・大地とその動き	・宇宙、太陽系、そして地球の特徴を整理し、なぜ、地球で生命が生まれ、繁栄できたのか考えを深める。 ・地震や地殻変動などの原因とプレートの動きの関係を理解する。
	前期 期末	・火山活動と地震 ・地球の熱収支	・地震や火山はプレートの境界付近でよく発生していることに気がつくとともに、その特徴を整理できる。 ・地球の熱収支は、地球全体でみるとつり合っていることを理解するとともに、温室効果の影響について考える。
後期	後期 中間	・大気と海水の運動 ・日本の自然の恵みと防災 ・地域の自然の恵みと防災	・大気と海洋の流れについてまとめ、関連性を見いだす。 ・地域のハザードマップを入手し、各種自然災害が起こったときの事前行動計画をつくり、どのように行動すればよいか整理して発表する。
	学年 末	・地球環境の考え方 ・自然環境の変動 ・これからの地球環境	・様々な観測データをもとに地球の気候変動について、その特徴や要因について理解し、地球、人間が共に持続可能な発展とは何か考える。 ・気候変動に関する様々な世界の取り組みについて整理し理解する。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地学の基本的な用語・理論などを身に付けることができる。	日本や地域の問題を的確に読み解き、情報の収集やデータの分析から、論理的に考えることができる。	実験、観察や調べ学習、ポスターセッションに意欲的に参加できる。また、課題の提出状況で評価する。

5 評価方法

計70時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、授業に取り組む姿勢、定期考査・課題考査における成績、実験観察における態度や発表とレポート、提出された課題に対する取り組み具合を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%